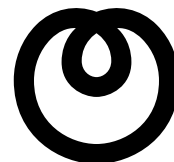


NTT



Pacsia II

【応用ガイド（追加機能編）】

追加機能

- IP電話
- PPPoEブリッジ接続
- ドメインルーティング

目次

この取扱説明書（応用ガイド：追加機能編）の目次

1 IP電話を利用する

IP電話を設定する前に	3
ご利用上の注意	3
通信回線の特性について	4
利用できる電話機について	4
IP電話で利用できる電話機能一覧	5
設定手順	8
IP電話を設定する	9
IP電話登録エラー	11
かんたん電話設定（IP電話の設定）	12
設定方法について	12
IP電話の設定を行う	12
IP電話の使い方	15
電話機のディスプレイ表示	15
電話をかけるには	16
電話がかかってきたときは	18
IP電話の動作履歴を確認したい場合	20
IP電話接続・切断	21

2 IP電話の詳細な設定を行う

電話の詳細設定（IP電話回線設定）	23
IP電話回線設定	23
ルータの詳細設定（IP電話設定）	25
IP電話設定	25

3 PPPoEブリッジ設定

詳細設定	28
PPPoEブリッジとは	28
PPPoEブリッジ設定	28
設定例：同時にインターネットと フレッツ・スクウェアを利用する	29

4 ドメインルーティング

詳細設定	31
ドメインルーティングとは	31
ドメインルーティング設定	31
設定例：同時にインターネットと フレッツ・スクウェアに接続する	33

5 ご参考に

故障かな？と思ったら	35
用語の説明	36
索引	37

ご利用上の注意

■プロバイダが提供するIP電話サービスのご契約が必要です。

ご利用になるプロバイダが、フレットの「IP電話対応機器」に対応したIP電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

■IP電話サービスのサービス内容は各プロバイダごとに異なります。

- IP電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なりますので、各プロバイダにご確認ください。
- IP電話サービスから発信できる番号も各プロバイダにより異なります。
- 「IP電話対応機器」をご利用のお客さまどうしても、ご契約されたIP電話サービスが異なる場合は、IP電話サービスとして通話することができない場合がありますのでご注意ください。

■加入電話回線（INSネット64、一般加入電話回線）を接続しない場合は、110番などについてはつながりません。

- 110番や118番、119番の電話番号へは、自動的に加入電話回線から発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。
- ご契約されたIP電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、加入電話回線から発信してください。

■IP電話サービスから発信する際は、以下の表をよくご確認ください。

発信先の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IP電話サービスから発信できます。
050番号（IP電話）	例：050-XXXX-XXXX ※	IP電話サービスから発信できます。
0X0（050以外）	例：携帯電話（090）、PHS（070）、 国際電話（010）など	ご契約されたIP電話サービスのサービス内容によります。詳しくは各社のIP電話サービスのサービス内容をご確認ください。
00XY	例：0036などで始まるダイヤル	【ダイヤルした番号がIP電話サービス対象の場合】 IP電話サービスから発信します。
0XY0（市外局番以外）	例：0120、0570などで始まる ダイヤル	
その他のダイヤル （110、118、119以外）	—	【ダイヤルした番号がIP電話サービス対象外の場合】 INSネット64、一般加入電話回線の外線ボタンから発信してください。
110、118、119	110、118、119の緊急通話	自動的にINSネット64、または一般加入電話から発信します。

※：「184+電話番号」および「186+電話番号」を含みます。

■発信する際は、IP電話の外線ボタンからダイヤルしてください。

IP電話サービスから発信する場合は、IP電話の外線ボタンから発信する必要があります。

■発信する際は、市外局番からダイヤルしてください。

一般の電話番号へ発信する場合には、市外局番からダイヤルしてください。市外局番がダイヤルされない場合（最初のダイヤルが、「0」または「1」以外）は、登録されている市外局番（「データ設定：市外局番」●P26）を自動的に追加します。

■IP電話サービスから発信できない／発信したくないときは

- INSネット64、一般加入電話回線の外線ボタンから発信してください。
- ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP電話サービスがご利用いただけない場合は、INSネット64、一般加入電話回線の外線ボタンから発信してください。

■発信者番号通知についてご確認ください。

- IP電話サービスどうしの通話の場合は、IP電話サービスの電話番号が通知されます。（「184+電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。）
- 加入電話など、IP電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

IP電話を設定する前に

■IP電話サービスの着信については制限があります。

- 固定電話（INSネット64／一般加入電話）・携帯電話・PHSから、IP電話サービスへの通話は制限があります。（対応時期については、各IP電話サービスにより異なります。）
- IP電話サービスどうしても、ご契約されたIP電話サービスが異なる場合は、IP電話サービスとして通話ができない場合があります。

通信回線の特性について

■下記のような場合には、IP電話の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。

- WAN（ブロードバンド）の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
- インターネットで十分な帯域がとれない場合
- 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

■相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

■IP電話をご利用中に、主装置の設定を行いますと、通話がとぎれることがあります。

利用できる電話機について

名称	カナ品名	IP電話利用
6外線標準スター電話機	MBS-6LSTEL-<1>/<2>	利用可能
6外線ISDN停電スター電話機	MBS-6LIPFSTEL-<1>/<2>	
6外線停電スター電話機	MBS-6LPFSTEL-<1>/<2>	
12外線受話音量増大スター電話機	MBS-12LRASTEL-<1>/<2>	
6外線防水スター電話機	MBS-6LWPSTEL-<1>/<2>	
12外線漢字スター電話機（漢字電話機）	MBS-12LKSTEL-<1>	
12外線漢字録音スター電話機（漢字録音電話機）	MBS-12LKRECSTEL-<1>	
12外線カールコードレススター電話機 （デジタルカールコードレス電話機）	MBS-12LCCLSTEL-<1>/<2>	
デジタルシステムコードレス電話機	MBS-DCL-PS-<1>/<2>	
デジタルシステムKT形コードレス電話機	MBS-DCL-PSKT-<1>/<2>	
デジタルコードレス電話機（自営標準PS）	—	利用不可
アナログ通信機器	—	

注）端末の説明に関しては「ご利用になれる端末」（かんたんガイド●P19）を参照してください。

お知らせ

- PACSLAの設定操作方法は、他のフレッツ「IP電話対応機器」とは一部異なる項目があります。操作方法については、本書を確認してください。
- IP電話を設定すると、ISDN回線によるルータのバルク接続（2Bch<MP>）（応用ガイド●P63）および同時2対地接続がご利用できなくなります。
- アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話を利用した発信、着信、通話、保留などすべてご利用になれません。

IP電話で利用できる電話機能一覧

■ 発信

名称	内線電話機	単体電話機	システムコードレス	自営標準PS	機能概要	関連設定データ
個別形外線発信	○	—	○	—	外線ボタンを押すことにより、そのボタンに割り付けられた外線を捕捉して発信できる機能	なし
PBX形外線発信	○	—	○	—	☎⇒相手電話番号をダイヤルすることにより、外線捕捉して発信できる機能	PBX形発信時捕捉外線(内線)
内線個別番号呼出	—	—	—	—	内線番号をダイヤルすることにより、内線端末を信号で呼び出す機能	内線呼出選択(内線)
内線個別音声呼出	—	—	—	—	内線番号をダイヤルすることにより、内線端末を音声で呼び出す機能	内線呼出選択(内線)
信号/音声呼出切替	—	—	—	—	内線電話機を呼び出しているとき、☎をダイヤルすることにより、信号呼出と音声呼出を交互に切り替えることができる機能	内線呼出選択(内線)
一斉内線呼出	—	—	—	—	☎☎をダイヤルすることにより、空き状態の全内線電話機を一斉に音声で呼び出せる機能	なし
内線ホットライン	—	—	—	—	設定した内線電話機をワンタッチで呼び出したり、その内線電話機の状態をランプで表示する機能	外線キー定義(内線)
話中呼出	—	—	—	—	お話し中の内線電話機を呼び出すことができる機能	話中着信可否(内線)
オフフック外線自動捕捉	○	—	○	—	ハンドセットを取りあげる、またはスピーカボタンを押すことで、外線を自動捕捉できる機能	オフフック外線自動捕捉(内線) PBX形発信時捕捉外線(内線)
オンフック発信	○	—	○	—	スピーカボタンを押すことにより、ハンドセットを置いたまま発信できる機能	なし
ワンタッチオンフックダイヤル	○	—	○	—	ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押してダイヤルする機能	なし
プリセットダイヤル	○	—	○	—	ダイヤル番号を表示したあとで、外線等を捕捉し発信できる機能	なし
再ダイヤル	○	—	○	—	外線発信時に自動的に記録されたダイヤル番号から選んで外線発信することができる機能(4回前の発信まで記録されます)	なし
ワンタッチダイヤル	○	—	○	—	ワンタッチボタンを押すだけで、外線ボタンを押してダイヤルするなど、登録してある操作を自動的に行うことができる機能	ワンタッチボタン設定
共通短縮ダイヤル	○	—	○	—	登録してある共通短縮ダイヤルをすべての電話機で利用することができる機能	共通短縮ダイヤル設定サービスクラス(内線)
個別短縮ダイヤル	○	—	○	—	電話機ごとに、個別に登録された短縮ダイヤルを利用することができる機能	個別短縮ダイヤル設定サービスクラス(内線)
簡易自動再発信	—	—	—	—	ISDN回線での外線発信の際、相手の方が応答しないときやお話し中のとき、一定の間隔で再発信を繰り返すことができる機能	なし
発信規制	○	—	○	—	規制あるいは許可したいダイヤル番号を登録しておくことにより、外線発信を規制することができる機能	発信許可番号設定 発信禁止番号設定 削除ダイヤル設定 サービスクラス(内線) 発信時外線捕捉規制(内線)
発信時発番通知	○	—	○	—	IP電話で外線発信する際、電話番号を相手に通知する機能	なし
発信時外線捕捉規制	○	—	○	—	電話機ごとに発信を規制する外線を登録しておくことにより、発信する外線を規制することができる機能	発信時外線捕捉規制(内線)
緊急特番リダイレクト	○	—	○	—	IP電話回線で緊急特番(「110」、「118」および「119」)に発信を行ったとき、自動的にIP電話回線以外の回線を再捕捉して発信する機能	なし
市外局番自動付与発信	○	—	○	—	IP電話回線で発信を行ったとき、自動的に市外局番をダイヤルに付与する機能	なし

「システムコードレス」とは、デジタルシステムコードレス電話機(MBS-PS-〈1〉)およびデジタルシステムKT形コードレス電話機(MBS-PSKT-〈1〉)のことです。

1
利用する

2
な設定の詳細

3
プロパティ設定

4
ルードメーティング

5
ご参考に

■ 着信・応答

名称	内線 電話機	単体 電話機	システム コードレス	自営標準 PS	機能概要	関連設定データ
ダイヤルイン／モデムダイヤルイン	—	—	—	—	着信したときに通知されるダイヤルイン番号により、着信させる電話機を指定できる機能	ダイヤルイン／モデムダイヤルイン設定 契約種別（回線）
着サブアドレスダイヤルイン	—	—	—	—	INSネット64から通知される着サブアドレスにより、着信させる電話機を指定できる機能	着サブアドレスダイヤルイン設定
発信者番号ダイヤルイン	○	—	○	—	着信したときに通知される発信者番号により、着信させる電話機を指定できる機能	発信者番号ダイヤルイン設定
i・ナンバー着信	—	—	—	—	INSネット64から通知されるi・ナンバー情報により、着信させる電話機を指定できる機能	契約種別（回線） i・ナンバー着信電話機（回線）
端末着信拒否	○	—	○	—	電話機からの操作により、一時的に放送着信の着信音を鳴らさなくしたり、個別着信や内線着信を受け付けなくすることができる機能	なし
任意回線応答	○	—	○	—	着信時、点滅している外線ボタンを押すことでその着信に応答できる機能	なし
着信自動応答	○	—	○	—	着信音が鳴っている電話機で、ハンドセットを取りあげる、またはスピーカボタンを押すだけでその着信に応答できる機能	なし
代理応答	○	—	○	—	他の電話機へかかってきた着信に、代わりに応答できる機能	なし
不在着信転送※	○	—	○	—	電話機の操作により、着信を一時的に別の電話機に転送できる機能	不在着信転送タイム（システム）
内線ハンズフリー	—	—	—	—	マイクボタンを押してマイクランプを点灯しておくことにより、内線呼出に対してハンドセットを取りあげずに音声で応答できる機能	なし
自動着信記録	○	—	○	—	外線からの着信（放送／個別）を自動的に記録し、表示したり、その相手の方に発信することができる機能	なし
発信者名識別表示	○	—	○	—	短縮ダイヤルに登録されている名前を着信時に表示できる機能	共通短縮ダイヤル設定 個別短縮ダイヤル設定

※：不在着信転送先がアナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）の場合は転送されません。

■ 通話

名称	内線 電話機	単体 電話機	システム コードレス	自営標準 PS	機能概要	関連設定データ
スピーカ受話	○	—	○	—	電話機のスピーカから、相手の方の声を聞くことができる機能	なし
ハンズフリー通話	○	—	—	—	ハンドセットの代わりにスピーカとマイクを使用して通話することができる機能	なし
ヘッドセット通話	○※	—	—	—	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用して通話することができる機能	ヘッドセット設定（内線） ヘッドセット自動切断設定（システム） ヘッドセット自動切断タイム（システム）
長時間通話警告	○	—	○	—	外線発信時に、一定時間通話が続くとディスプレイ表示および音で警告を通知することができる機能	長時間通話警告鳴動時間（システム） 長時間通話警告周期（システム） 長時間通話警告（内線）
通話中ダイヤル	○	—	○	—	外線通話中または内線通話中にダイヤルボタンを押すことにより、PB信号を送出できる機能	PB信号送出時間設定（システム）
フッキング	—	—	—	—	単体電話機でフッキングにより個別保留を行う機能	アナログポートフッキング検出時間（システム） アナログポートフッキング操作（内線）

※：録音電話機、漢字録音電話機ではご利用になれません。

■ 保留・転送

名称	内線 電話機	単体 電話機	システム コードレス	自営標準 PS	機能概要	関連設定データ
個別保留・転送	○	—	○	—	個別保留操作を行うことにより、内線・外線を保留したり転送することができる機能	オンフック転送（内線）
共通保留・転送	○	—	○	—	保留ボタンを押すことで、通話中の外線を保留し、他の電話機へ転送する機能	オンフック転送（内線）
自動保留・転送	○	—	○	—	外線通話中に、内線ボタン、内線ホットラインボタンを押すことで、通話中の外線を個別保留し、他の電話機へ転送する機能	オンフック転送（内線）
呼出状態転送	○	—	○	—	転送先の内線電話機を呼出中に電話機の操作で、呼出状態のまま転送できる機能	呼出状態転送（システム） オンフック転送（内線）
一斉内線呼出転送	○	—	○	—	外線を保留したあと、一斉内線呼出をして応答した電話機に転送することができる機能	オンフック転送（内線）
長時間保留警告	○	—	○	—	一定時間以上、保留状態が続くと、保留した電話機に警告音を鳴らす機能	保留警告開始タイム（システム）
保留音源指定	○	—	○	—	保留音として「美女と野獣」または「アラジンのテーマ」のメロディを流すことができる機能	保留音選択（システム）

転送先がアナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）の場合は転送されません。

設定手順

IP電話の設定手順を以下に示します。

① 設定を開始する前に必ずお読みください (☞P9)



② インターネットに接続する (☞P9)



③ プロバイダの設定方法に従う (☞P9)

プロバイダから詳細な設定項目を指定されている場合は、「ルータ詳細設定」の「IP電話設定」(☞P25)から設定することができます。設定が完了しましたら手順5 (☞P10)に進みます。



IP電話登録エラー (☞P11)

IP電話登録完了 (☞P10) でIP電話登録エラー画面が表示された場合に参照してください。

- 利用できる外線ボタンがないとき (☞P11)
- 設定に失敗したとき (☞P11)



④ IP電話登録完了 (☞P10)



⑤ IP電話接続状態を確認する (☞P10)



⑥ IP電話で発信する (☞P10)

1 設定を開始する前に必ずお読みください

IP電話を設定すると、回線に設定されていない外線ボタンが自動的にIP電話用の外線ボタンに変更されます。(初期設定では、外線ボタン6がIP電話回線となります)

外線ボタンに設定されている外線キー定義(応用ガイド●P32)は「IP電話」に変更されます。

2 インターネットに接続する

主装置に接続されたパソコンでブラウザソフトを起動し、「<http://www.ntt.co.jp/>」などのURLを入力してブロードバンドによるインターネットにアクセスできることを確認してください。



お知らせ

- インターネットにアクセスできない場合は「かんたんインターネット設定」(かんたんガイド●P72)でブロードバンドによるインターネット接続を設定してください。ISDNによるインターネット接続ではIP電話をご利用になれません。

3 プロバイダの設定方法に従う

IP電話サービスを設定するには、各プロバイダが提供する設定方法に従ってください。

(設定方法については、各プロバイダにお問い合わせください。)

プロバイダから詳細な設定項目を指定されている場合は、「ルータ詳細設定」の「IP電話設定」(●P25)から設定することができます。「ルータ詳細設定」の「IP電話設定」から設定を行った場合は、手順5(●P10)へ進みます。



お知らせ

- ユーザー名、パスワード入力画面が表示された場合は、主装置のパスワードを入力してください。
- お買い求め時は、パスワードに「PACSIA」(半角大文字)が登録されていますので、パスワードに「PACSIA」(半角大文字)を入力し「OK」ボタンをクリックします。(ユーザー名の入力不要です)
- 「ページを表示できません」または「すべてが見つからないか、DNS エラーです。」と表示される場合は、以下のことを確認してください。
 - ・パソコンのネットワーク設定「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」(かんたんガイド●P49)になっている。
 - ・主装置の「ProxyDNS機能」(応用ガイド●P81)が「する」になっている。
 - ・主装置の「DHCPサーバ機能」(応用ガイド●P79)が「する」になっている。
- お使いのパソコンにIPv6がインストールされている場合は、プロバイダが提供する設定方法が正常に動作しないことがあります。

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

4 IP電話登録完了

設定が正常に終了すると「IP電話登録完了」画面が表示されます。

(「IP電話登録完了」画面が表示されるまで数秒かかる場合があります。)

IP電話で利用する外線ボタンを確認してください。

■ IP電話登録完了

PAC-SIAにIP電話を設定しました。
IP電話は、外線ボタン6でご利用になれます。

「着信先/鳴動設定」は、「かんたん電話設定-IP電話の設定」から設定してください。
→ [かんたん電話設定-IP電話の設定へ](#)

電話機のLCD表示 **VoIPリヨウフカ** が消えたら、IP電話をご利用になれます。

- 着信先/鳴動設定を行う場合は、[かんたん電話設定-IP電話の設定へ](#)をクリックします。

お知らせ

- IP電話登録中は、他のパソコンからインターネットへの接続を行わないでください。
- IP電話の設定を有効とするために、自動的にすべての接続先がいったん切断されます。
- IP電話で通話中に設定を行うと通話が切断されます。
- 電話機をご利用になったまま設定を行いますと、IP電話を利用する外線ボタンの設定が有効になりません。電話機のご利用が終わりましたら外線ボタンの設定が有効になります。
- 表示された画面が以下の画面の場合は「利用できる外線ボタンがないとき」(☛P11)を参照してください。

■ IP電話登録エラー

IP電話サービスで利用できる外線ボタンが無いため、IP電話をご利用になれません。

- 表示された画面が以下の画面の場合は「設定に失敗したとき」(☛P11)を参照してください。

■ IP電話登録エラー

IP電話の設定ができませんでした。

5 IP電話接続状態を確認する

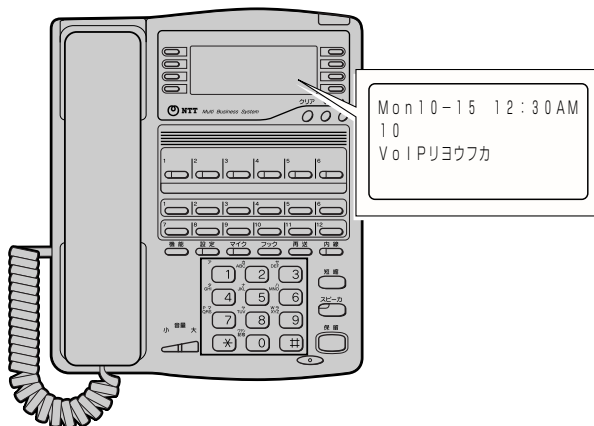
■ 内線電話機のディスプレイ表示で確認する。

内線電話機のディスプレイ表示から「VoIPリヨウフカ」が消えたら、IP電話がご利用になれます。

「VoIPリヨウフカ」表示中は、IP電話をご利用になれません。

お知らせ

- IP電話登録完了後、しばらくお待ちになっても「VoIPリヨウフカ」が消えない場合は、「故障かな?と思ったら」(☛P35)を参照してください。



6 IP電話で発信する

内線電話機からIP電話を利用して発信します。

IP電話の外線ボタンからINSネット64または一般加入電話回線へ発信し、通話を確認してください。

(発信先によっては、通話すると料金が課金されますのでご注意ください。)

お知らせ

- IP電話から利用できる電話番号については、「ご利用上の注意」(☛P3)にある表を参照してください。
- 内線電話機のディスプレイに「VoIPケンガイ」、「VoIPサーバキセイ」、「VoIPアウトウナシ」が表示された場合は、「電話機のディスプレイ表示」(☛P15)を参照してください。

IP電話登録エラー

1
IP電話を
利用する

2
IP電話の
設定の詳細
を行う

3
プロボム
プリッジ
設定

4
ドメイン
テイング

5
ご参考
に

■ 利用できる外線ボタンがないとき

利用できる外線ボタンがないためIP電話をご利用できません。

特別な工事により、回線（INS1、INS2、アナログ、IP電話、代表）に設定されている外線ボタンの割り付けが変更されています。IP電話をご利用になるには局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

工事終了後、もう一度、各プロバイダから提供されている設定方法に従い、IP電話登録をやり直してください。

（手順3➡P9）

■ IP電話登録エラー

IP電話サービスで利用できる外線ボタンが無いため、IP電話をご利用になれません。

特別な工事を行うことにより、回線に設定されている外線ボタンの割り付けを変更する必要があります。局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

工事終了後、もう一度、各プロバイダ（ISP）で提供されている設定方法に従い、IP電話登録をやり直してください。

■ 設定に失敗したとき

IP電話の登録に失敗しました。

各プロバイダから提供されている設定方法に従い、IP電話登録をやり直してください。（手順3➡P9）

■ IP電話登録エラー

IP電話の設定ができませんでした。

各プロバイダ（ISP）で提供されている設定方法に従い、IP電話登録をやり直してください。

かんたん電話設定（IP電話の設定）

IP電話がかかってきたときに着信する内線電話機を指定するには、かんたん電話設定（IP電話の設定）を行います。

設定方法について

かんたん電話設定（IP電話の設定）はネットワーク上のパソコンからブラウザソフトにより行います。詳しくは「かんたんガイド 設定方法について」（かんたんガイド●P50）を参照してください。

IP電話の設定を行う

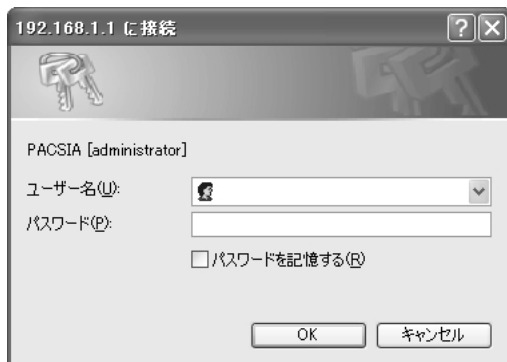
1

メインメニューで「かんたん電話設定」ボタンをクリックします。

ユーザー名/パスワード入力画面が表示されます。

- ブラウザソフトを起動してからすでに1回でもパスワードを入力している場合は、ユーザー名/パスワード入力画面は表示されません。かんたん電話設定画面が表示されますのでIP電話の設定に進みます。（手順3●P13）

パスワードを入力し「OK」ボタンをクリックします。



（Windows® XPの場合の画面例）

2

お買い求め時は、パスワードに「PACSIA」（半角大文字）が登録されていますので、パスワードに「PACSIA」（半角大文字）を入力し「OK」ボタンをクリックします。（ユーザー名の入力不要です）「OK」ボタンをクリックするとかんたん電話設定画面が表示されます。

- パスワードが一致しない場合はエラーメッセージが表示されます。
- 管理者用パスワードを変更するには「パスワードを設定するには」（かんたんガイド●P86）を参照してください。

回線設定			
回線	契約種別	電話番号	
INS1	基本契約	契約者回線番号	
INS2	基本契約	契約者回線番号	
アナログ	基本契約	回線種別	DP(20PPS)
		ナンバー・ディスプレイ契約	なし
IP電話	-	IP電話接続先	INTERNET
		IP電話利用外線ボタン	外線6
		IP電話番号	05012345678

- かんたん電話設定画面では設定を行う項目をクリックすることで各設定画面が表示されます。
- IP電話の設定を行う場合は、IP電話をクリックします。

IP電話の設定を行います。

かんたん電話設定画面でIP電話をクリックします。

IP電話の設定画面が表示されますので、IP電話の設定を行います。

IP電話番号が表示されていない場合は、「IP電話を設定する」(P9) から設定を行ってください。

IP電話番号が表示されている場合は、次の項目を設定してください。

- 外線ボタン設定
- IP電話接続設定
- 着信鳴動設定

外線ボタン設定											
設定項目	設定値	備考									
IP電話利用外線ボタン	外線6	IP電話を利用するための外線ボタンを選択します。 ※外線ボタンを選択されると、当該ボタンの外線キー定義が上書きされますのでご注意ください。									
IP電話接続設定											
設定項目	設定値	備考									
IP電話サーバ接続	<input checked="" type="radio"/> 常時接続 <input type="radio"/> 手動接続	IP電話サーバへの接続方法を選択します。									
接続先の選択	INTERNET	IP電話を利用するWAN(ブロードバンド)接続設定を選択します。									
IP電話番号											
設定項目	設定値	備考									
IP電話番号	05012345678	契約されているIP電話番号です。									
着信鳴動設定											
電話番号	モード	電話機の指定	内線番号							備考	
			10	11	12	13	14	15	16		17
IP電話番号	昼	着信先	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	着信先/鳴動(自動応答)を選択してください。
		鳴動(自動応答)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

- 「IP電話利用外線ボタン」 : IP電話を利用するための外線ボタンを選択します。
- 「IP電話サーバ接続」 : IP電話サーバへの接続方法を選択します。
常時接続 : 常にIP電話を利用します
手動接続 : マニュアル操作で接続を行い、IP電話を利用します。
- 「接続先の選択」 : IP電話を利用するインターネットのWAN(ブロードバンド)接続設定(応用ガイドP70)を選択します。

(次ページへつづく)

（前ページのつづき）

3

- 「IP電話番号」 : IP電話番号を表示します。
 - 「着信鳴動設定」 : IP電話で着信したときに着信させる内線と、着信音を鳴らしたい内線を選択します。「着信先」で選択すると「鳴動（自動応答）」も自動的に選択されますが、着信音を鳴らしたくないときは、その「鳴動（自動応答）」のチェック欄をクリックしてチェックマークをはずします。
- 設定後、「設定」ボタンをクリックすると、「かんたん電話設定（回線設定）を設定しました。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。IP電話の設定が終了し、かんたん電話設定画面に戻ります。



ワンポイント

- IP電話サーバ接続について
常時接続を選択した場合、主装置がインターネットに接続している間、IP電話をご利用できます。
手動接続を選択した場合、マニュアル操作により接続している間のみ、IP電話をご利用できます。（「IP電話接続・切断」(P21)）
- 着信鳴動設定について
鳴動（自動応答）に設定した内線電話機は、着信時にハンドセットを取り上げるだけで応答できます。着信先に設定し鳴動（自動応答）に設定していない内線電話機では、着信時に外線ボタンを押すことで応答できます。着信先に設定されていない内線電話機では代理応答（かんたんガイドP122）で応答することができます。
なお、アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話への着信、代理応答はご利用になれません。
- 昼間と夜間で着信先を変えるには（昼モードと夜モード）
「かんたん電話設定」では昼モードの着信先のみ設定できます。夜間の着信先を設定するときは、「電話の詳細設定」の「IP電話回線設定」(P23)で個別に設定してください。
昼モードと夜モードを切り替えて運用しない場合は、昼モードだけで運用できます。



お知らせ

- IP電話利用外線ボタンを設定すると外線キー定義（応用ガイドP32）が変更されます。
- IP電話を利用するには「IP電話利用外線ボタン」と「接続先の選択」を設定する必要があります。
- 「回線接続中のため、保存できませんでした。」と表示された場合は、マニュアル操作：切断（応用ガイドP102）から回線を切断してください。回線を切断すると設定が有効になります。
- 「外線または電話機使用中のため、外線ボタンは有効になっていません。」と表示された場合は、すべての電話機のご利用を終了してください。電話機のご利用が終了すると、IP電話の外線ボタンの設定が有効になります。
- デジタルコードレス電話機（自営標準PS）は、着信先として選択しても着信しません。

電話機のディスプレイ表示

IP電話のディスプレイの見方

●ディスプレイの表示例

内線電話機のディスプレイ表示	状態
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> か*イセン050XXXXXXXXX VoIP </div>	IP電話で発信するときに表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Mon10-15 12:30AM 0-30 PB VoIP </div>	IP電話で通話しているときに表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Mon10-15 12:30AM 10 VoIPリヨウフカ </div>	IP電話が利用できないときに表示されます。 IP電話サーバ接続が「手動接続」(●P13)に設定されている場合は、IP電話接続・切断(●P21)で接続を行ってください。 しばらくお待ちになっても「VoIPリヨウフカ」表示が消えない場合は、「故障かな?と思ったら」(●P35)を参照してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VoIPケンガイ </div>	IP電話サービス対象外の電話番号に発信したときに表示されます。 INSネット64、一般加入電話回線の外線ボタンから発信してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VoIPサーバキセイ </div>	ネットワーク障害などの何らかのトラブルによりIP電話サービスがご利用いただけないときに表示されます。 INSネット64、一般加入電話回線の外線ボタンから発信してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VoIPアウトウナン </div>	発信相手が見つからない場合に表示されます。 発信相手が接続されていない、または存在しない可能性があります。



お知らせ

- 表示内容は「データ設定」(パソコンからブラウザソフトを利用して設定すること)によって異なることがあります。

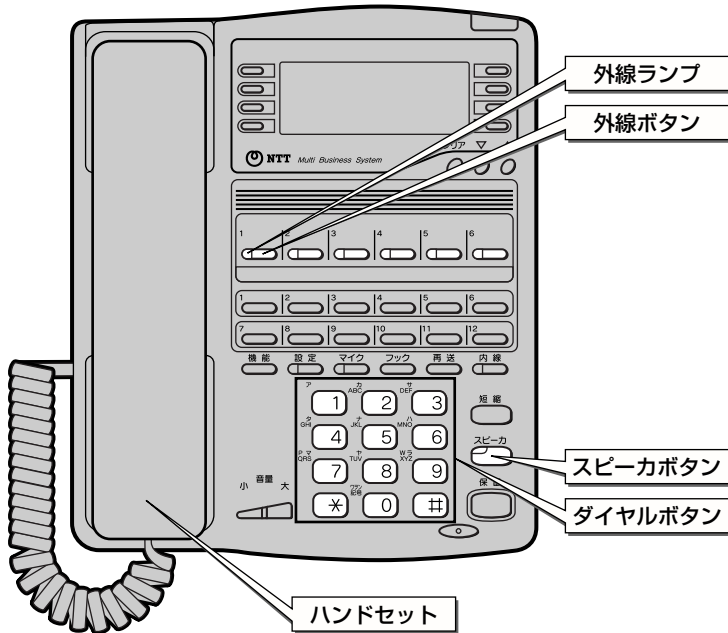
電話をかけるには

ハンドセットを取りあげてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法（オンフックダイヤル）、押した電話番号を確認してかける方法（プリセットダイヤル）があります。詳しくは、かんたんガイドのP100、101を参照してください。

IP電話の外線ボタンは「IP電話登録完了」画面（☛P10）または「かんたん電話設定」画面（☛P12）で確認できます。

発信する際は、市外局番からダイヤルしてください。

アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話を利用した発信、着信、通話、保留などすべてご利用になれません。

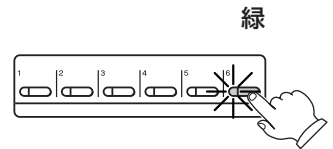


ハンドセットを取りあげてかける

1 IP電話の外線ランプが消えていることを確認し、IP電話の外線ボタンを押します。

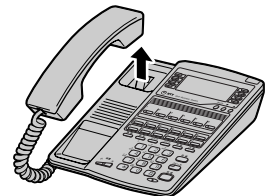
「ツーン」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

カ* イセン050XXXXXXXXX
VoIP



2 ハンドセットを取りあげます。

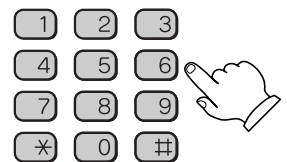
カ* イセン050XXXXXXXXX
VoIP



3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

030000XXXX
VoIP



4 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

Wed 6-19 3:15PM
0-30
PB
VoIP

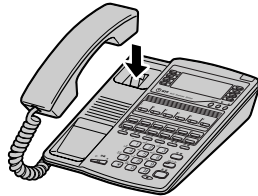


お知らせ

- 通話時間は、最大「9-59-59」（9時間59分59秒）まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
- 手順1を行わないでハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときには、「データ設定：オフフック外線自動捕捉」（応用ガイド☛P28）によって次のどちらかの状態になります。
 - 「ツーツーン…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
 - 「ツーン」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる。（オフフック外線自動捕捉）
 オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。
- IP電話を利用しても、発信先によっては通話すると料金が課金されます。
- IP電話回線を利用して発信した場合、通話料金は表示されません。
- 電話機のディスプレイに「VoIP○○○○」と表示された場合は、電話機のディスプレイ表示（☛P15）を参照してください。

5 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

Wed 6-19 3:15 PM
1-00



ワンポイント

○外線ランプが赤く点灯しているときは

他の内線電話機が外の相手の方とお話中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。

●IP電話を使って即時発信するときは

手順3のあとに続けて **[#]** を押すと、すぐに発信できます。**[#]** を押さなくても約6秒後に自動的に発信します。

●ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには

ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけることができます。

●お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）

ハンドセットでお話中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても通話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

📞通話時間が一定時間を超えたときは（長時間通話警告）

外へ電話をかけたときは、「データ設定：長時間通話警告鳴動時間」（応用ガイド●P36）された通話時間が経過すると「ピピ」という警告音が鳴り、ディスプレイには「チョウジ カン ケイホウ」と表示されます。そのあと、「データ設定：長時間通話警告周期」（応用ガイド●P36）に設定された時間ごとに警告音が鳴ります。

●発信者番号通知について

IP電話サービスどうしの通話の場合は、IP電話サービスの電話番号が通知されます。「184+電話番号」ダイヤルすることで非通知にすることができます。

●緊急特番ダイヤルについて

IP電話回線から緊急特番（「110」、「118」および「119」）により発信を行ったときは、自動的にINSネット64および一般加入電話回線から発信します。すべての外線が使用中の場合は、「プープー…」という話中音が聞こえます。

●オフフック外線自動捕捉でIP電話を利用するには

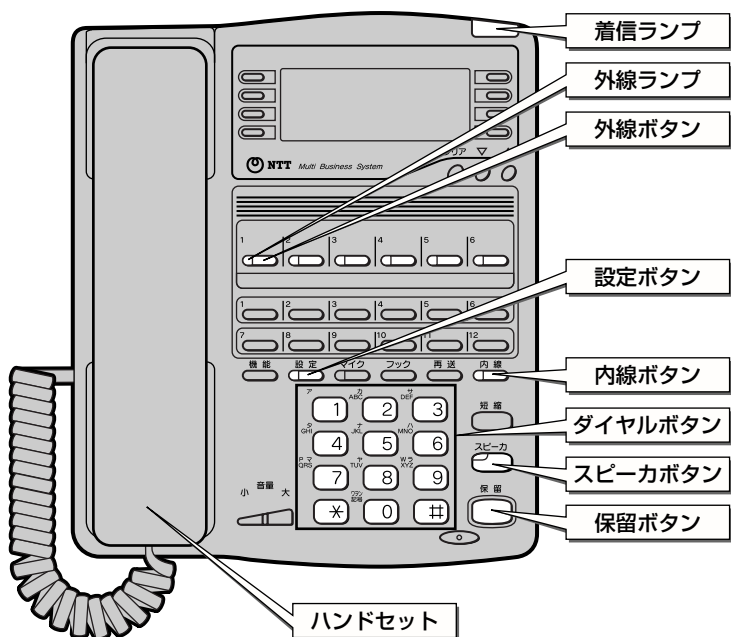
内線電話機設定で「データ設定：オフフック自動外線捕捉」（応用ガイド●P28）を「あり」に設定し、「データ設定：PBX形発信時捕捉外線」（応用ガイド●P28）でIP電話の外線ボタンを選択します。

●ワンタッチでIP電話を利用するには

ワンタッチボタンに登録する（かんたんガイド●P108）の手順4、5の代わりにIP電話の外線ボタンを押してから手順6に進みます。

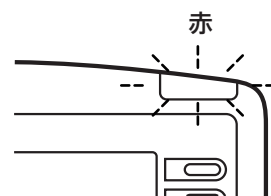
電話がかかってきたときは

IP電話から電話がかかってくると、着信音が鳴るように指定した電話機から着信音が聞こえ、着信ランプとIP電話の外線ランプが赤く点滅します。



1 着信音が鳴り、IP電話の着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

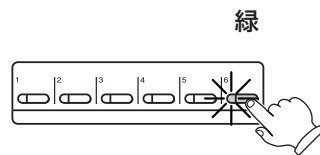
0 5 0 X X X X X X X X



2 IP電話の外線ボタンを押します。

IP電話の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

Wed 6-19 3:15 PM
PB 0-00
VoIP



3 ハンドセットを取り上げて、相手の方とお話してください。

通話時間が表示されます。

Wed 6-19 3:15 PM
PB 0-30
VoIP



4 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 外の相手の方とお話し中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 他の人が先に応答したときは、「ブーブー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- 着信音が鳴っている電話機はハンドセットを取り上げるだけで応答できますが、複数の回線や内線が着信している状態のとき、選んで応答したい場合は先に外線ボタンや内線ボタンを押してからハンドセットを取りあげてください。
- アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話を利用した発信、着信、通話、保留などすべてご利用になれません。



ワンポイント

一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答通知）

「データ設定：着信未応答通知タイム」（応用ガイド▶P37）で設定した一定時間内に応答しなかったときは、着信先が他の内線電話機に切り替わります。

指定した電話機だけ着信音を鳴らすには（着信鳴動電話機指定）

「データ設定：着信鳴動電話機」（▶P23）により指定したアナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）以外の電話機で着信音を鳴らすことができます。お買い求め時はアナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）以外のすべての電話機が鳴るように設定されています。

●内線、外線の着信音が鳴らないようにするには（着信拒否）

次の操作で着信拒否を設定／解除することができます。

- ① ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ② 設定ボタンを押す
- ③ 着信拒否用の番号（**■**）を押す
- ④ **0**、**1**、**2**、**3**のどれかを押す
 - 0**：着信拒否の解除
 - 1**：内線の着信を拒否
 - 2**：外線の着信を拒否
 - 3**：内線、外線の両方の着信を拒否
- ⑤ 設定ボタンを押す
- ⑥ スピーカボタンを押す

●ハンドセットを取りあげてから応答するには

ハンドセットを取りあげて、ランプが点滅している外線ボタンを押すと、その外線ボタンに割り付けられた回線の着信に応答できます。先に外線ボタンを押しても応答できます。

●続けてかかってきた電話に応答するには

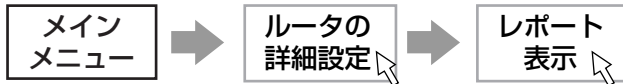
お話し中の相手の方に一時待っていただく場合は、保留ボタン、ランプが点滅している外線ボタンの順に押しします。お話しが終了している場合は、ランプが点滅している外線ボタンを押します。このとき、それまでの通話は切れます。

●外線または内線でお話し中に電話がかかってきたときは

通常より小さい音量で着信音が鳴ります。

IP電話の動作履歴を確認したい場合

レポート表示でIP電話の動作履歴を確認することができます。



1 メインメニューで「ルータ詳細設定」ボタンをクリックします。
ルータ設定メニューが表示されます。

2 ルータ設定メニューで「レポート表示」ボタンをクリックします。
レポート表示メニューが表示されます。

3 レポート表示メニューで「IP電話ログ表示」を選択します。

- IP電話の動作履歴が表示されます。
- 画面に表示される主な情報は次のとおりです。

サーバ登録完了	: IP電話回線が利用可能
サーバ登録解除	: IP電話回線が利用不可
サーバ登録拒否	: サーバから登録を拒否

IP電話登録状態変更+<理由表示>	: 登録処理、削除処理中に「サーバ登録完了」「サーバ登録削除」「サーバ登録拒否」以外の理由表示で状態変更を通知されたとき。
-------------------	---

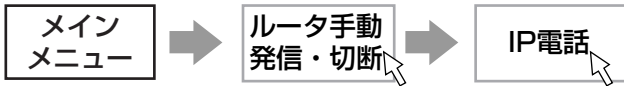
<電話番号>IP電話発信	: IP電話への発信
<電話番号>IP電話着信	: IP電話からの着信
IP電話相手応答	: 相手からの応答
IP電話応答	: PACSIAからの応答
IP電話相手呼出中	: 相手を呼び出し中
IP電話呼出中	: PACSIAの電話機を呼び出し中
IP電話切断+<理由表示>	: PACSIAからの切断
IP電話相手切断+<理由表示>	: 相手からの切断
発信先アドレスなし	: PACSIAから番号なしで発信
RTP監視タイムアウト	: 通話開始後、相手からの音声パケットを一定時間受信しない

お知らせ

- 「クリア」ボタンをクリックするとすべてのログ情報をクリアします。
- ログ表示は電源を切るとクリアされます。
- ログに表示される情報は、最新の情報が記録され、古い情報から削除されます。

IP電話接続・切断

マニュアル操作でIP電話の接続、切断を行うことができます。



1
IP電話を利用する

1 メインメニューで「ルータ手動発信・切断」ボタンをクリックします。
「■マニュアル操作」画面が表示されます。

2
IP電話の設定の詳細を行う

2 IP電話を選択します。

- 「発信」 : マニュアル操作による回線の接続を行います。(応用ガイド➡P101)
- 「切断」 : マニュアル操作による回線の切断を行います。(応用ガイド➡P102)
- 「IP電話」 : IP電話の接続・切断を行います。

2



お知らせ

- マニュアル操作：切断（応用ガイド➡P102）を行うと、IP電話の接続も切断します。（回線が切断された後、「IP電話サーバ接続」（➡P13）が「常時接続」に設定されていると、自動的にIP電話を接続することがあります。）

3
プロキシ設定

4
ドメイン設定

3 IP電話の接続状態により接続、または切断ボタンが表示されます。

設定された接続先にマニュアル操作で接続および切断を行うことができます。
IP電話の接続および回線の使用状態が表示されます。

- 「接続」 : マニュアル操作によるIP電話の接続を行います。
- 「切断」 : マニュアル操作によるIP電話の切断を行います。
- 「更新」 : 画面を更新して最新の接続状態を表示します。

3



ワンポイント

- 状態を更新するには
IP電話の接続状態を更新するには、「更新」ボタンをクリックします。また、「■IP電話接続・切断」画面は表示から約6秒たちますと自動的に画面を更新します。



お知らせ

- 「IP電話サーバ接続」（➡P13）が「常時接続」に設定されている場合、「接続」「切断」ボタンは表示されません。

5
ご参考に

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

マニュアル接続を行います。

マニュアル接続を行うには「接続」ボタンをクリックします。

■ IP電話接続・切断

- ・ IP電話の接続・切断を行います。
- ・ 6秒ごとに最新の情報が表示されます。
- ・ 更新ボタンにより最新の情報を表示することができます。

IP電話接続状態

状態	備考
空き	現在のIP電話サーバへの接続状態です。

WAN(ブロードバンド)接続状態

IP電話接続先	状態	接続先IPアドレス	DNSサーバアドレス	備考
INTERNET	通信中	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	現在のPPPoE接続状態です。



お知らせ

- 「接続」ボタンをクリックしたあと、しばらくお待ちになっても内線電話機のディスプレイから「VoIPリヨウフカ」が消えない場合は、「故障かな?と思ったら」(P35)を参照してください。
- 1分間に5回以上接続エラーを起こすと、IP電話が利用できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

マニュアル切断を行います。

マニュアル切断を行うには「切断」ボタンをクリックします。

■ IP電話接続・切断

- ・ IP電話の接続・切断を行います。
- ・ 6秒ごとに最新の情報が表示されます。
- ・ 更新ボタンにより最新の情報を表示することができます。

IP電話接続状態

状態	備考
通信中	現在のIP電話サーバへの接続状態です。

WAN(ブロードバンド)接続状態

IP電話接続先	状態	接続先IPアドレス	DNSサーバアドレス	備考
INTERNET	通信中	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	現在のPPPoE接続状態です。

IP電話回線設定

IP電話回線の詳細な設定を行います。

「**IP電話回線設定**」画面を表示するには、電話の詳細設定で「IP電話回線」をクリックし、「IP電話」をクリックします。



名称	説明	初期値
IP電話番号	IP電話番号を表示する（本画面では変更できません）	なし
着信鳴動電話機	昼／夜モードごとに、着信させる内線番号および鳴動させる内線番号を指定する。	全電話機とも着信させる／ 全電話機とも鳴動させる
回線未応答通知	なし／内線10～17	なし

1 IP電話番号

IP電話番号を表示します。



お知らせ

- IP電話番号は「IP電話の設定を行う」(P12)の手順により設定された値を表示します。本画面から設定値の変更はできません。

2 着信鳴動電話機

着信時、昼／夜モードごとに、着信させる内線番号および鳴動させる内線番号を選択します。



お知らせ

- 「着信先」で選択していない電話機では、着信に対して外線ボタンを押すことで応答することはできませんが、代理応答（かんたんガイド P122）で可能です。なお、アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話への着信、代理応答はご利用になれません。
- 夜モードの設定を有効にするには、モード切替設定を行うか手でモードを切り替える必要があります。（応用ガイド P5、35）
- デジタルコードレス電話機（自営標準PS）は着信先として選択しても着信しません。

（次ページへつづく）

（前ページのつづき）

回線未応答通知

着信未応答時に、着信未応答通知タイマ（応用ガイド●P37）で設定された時間経過後、呼び出す内線番号を設定します。



ワンポイント

○回線未応答通知の利用方法

着信音が鳴っているのに、だれも着信に応答できないようなときに留守番電話機で応答させたい場合に設定します。



お知らせ

- アナログポートに接続されたアナログ通信機器、デジタルコードレス電話機（自営標準PS）はIP電話の回線未応答通知先としてご利用になれません。

3

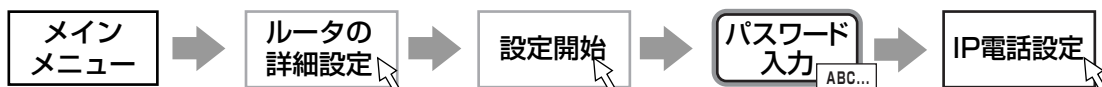
設定後、「設定」ボタンをクリックすると、「電話の詳細設定データを設定しました。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。回線設定（IP電話）が終了し、回線設定画面に戻ります。

IP電話設定

IP電話の詳細な設定を行います。

「■IP電話設定」画面を表示するには、詳細メニューでIP電話設定の「IP電話設定」をクリックします。

IP電話設定は「IP電話の設定を行う」(P12)の手順により自動的に設定した場合、設定を変更することで正常にIP電話が利用できない場合がありますので、ご注意ください。



名称	設定範囲	初期値
IP電話利用外線ボタン	なし/空き外線ボタン	なし
IP電話サーバ接続	常時接続/手動接続	常時接続
接続先の選択	なし/接続先	なし
SIPサーバアドレス	最大64文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
SIPサーバポート番号	1024~65535 10進数	5060
REGISTERサーバアドレス	最大64文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
REGISTERサーバポート番号	1024~65535 10進数	5060
SIPドメイン名	最大64文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
ユーザーID	最大32文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
パスワード	最大32文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
IP電話番号	最大32文字 (制御コード、スペースを除くASCII文字)	—
市外局番	最大5文字 (0~9)	—

1 IP電話利用外線ボタン

IP電話で利用するための外線ボタンを選択します。



お知らせ

- IP電話利用外線ボタンを設定すると、外線キー定義 (応用ガイドP32) が変更されます。
- IP電話利用外線ボタンを「なし」以外に設定すると、ISDN回線によるルータのバルク接続 (2Bch<MP>) (応用ガイドP63)および同時2対地接続がご利用できなくなります。

（前ページのつづき）

2

IP電話サーバ接続

IP電話サーバへの接続方法を選択します。

常時接続 : 常にIP電話を利用します。

手動接続 : マニュアル操作で接続を行い、IP電話を利用します。



ワンポイント

●IP電話サーバ接続について

常時接続を選択した場合、主装置がインターネットに接続している間、IP電話をご利用できます。

手動接続を選択した場合、マニュアル操作により接続している間のみ、IP電話をご利用できます。（「IP電話接続・切断」（●P21））

3

接続先の選択

IP電話を利用するWAN（ブロードバンド）接続設定（応用ガイド●P70）を選択します。

4

プロバイダから詳細な設定項目を指定されている場合は、以下の設定を行います。

- 「SIPサーバアドレス」 : SIPサーバのホスト名またはIPアドレスを設定します。
- 「SIPサーバポート番号」 : SIPサーバのポート番号を設定します。
- 「REGISTERサーバアドレス」 : REGISTERサーバのホスト名またはIPアドレスを設定します。
- 「REGISTERサーバポート番号」 : REGISTERサーバのポート番号を設定します。
- 「SIPドメイン名」 : IP電話のドメイン名を設定します。
- 「ユーザーID」 : IP電話のユーザーIDを設定します。
- 「パスワード」 : IP電話のパスワードを設定します。
- 「IP電話番号」 : IP電話番号を設定します。
- 「市外局番」 : 市外局番を設定します。

プロバイダによっては項目名称が主装置の項目と異なる場合があります。以下に該当項目名称の例を示します。

設定項目	該当項目名称
SIPサーバアドレス	VoIPサーバ名、VoIPサーバドメイン名
REGISTERサーバアドレス	VoIPサーバ名、VoIPサーバドメイン名
SIPドメイン名	VoIPドメイン名、サービスドメイン
ユーザーID	VoIPユーザーID
パスワード	VoIPパスワード
IP電話番号	VoIP電話番号
市外局番	市外電話番号、市外局電

設定後、「設定」ボタンをクリックすると「有効とするには、「設定データ保存」を行ってください。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



お知らせ

- プロバイダからの設定情報に「SIPサーバポート番号」および「REGISTERサーバポート番号」が指定されていない場合は「5060」のままにしてください。
- IP電話設定を行った場合は、必ず設定データ保存を行ってください。
- 「外線または電話機使用中のため、外線ボタンは有効になっていません。」と表示されたときは、すべての電話機のご利用を終了してください。電話機のご利用が終了すると、IP電話の外線ボタンが有効になります。

設定を保存します。

詳細設定メニューで「設定データ保存」をクリックし、表示された画面の「保存」ボタンをクリックすると、「ルータ機能の設定データは正常に保存されました。」を表示され、設定データの保存が完了します。



お知らせ

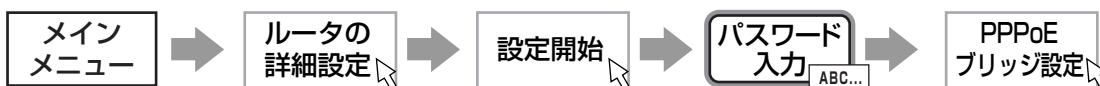
- 「回線接続中のため保存できませんでした。」と表示された場合は、マニュアル操作：切断（応用ガイド ▶P102）から回線を切断してください。回線を切断すると設定が有効になります。

PPPoEブリッジとは

PPPoEブリッジ機能とは、主装置のHUBポートに接続されているパソコンからPPPoEプロトコルで直接インターネットに接続し、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができる機能です。

PPPoEブリッジ設定

「■PPPoEブリッジ設定」の画面は詳細設定メニューでPPPoEブリッジ設定の「PPPoEブリッジ設定」をクリックします。



名称	設定範囲	初期値
PPPoEブリッジ接続	する/しない	しない

1 PPPoEブリッジ設定

PPPoEブリッジ接続を使用するかを選択します。



ワンポイント

●インターネット接続設定とPPPoEブリッジの併用

PPPoEブリッジ設定により、インターネット接続中にフレッツ・スクウェアなどへLAN側からアクセスすることができます。



お知らせ

- PPPoEブリッジ機能と主装置のWAN（ブロードバンド）接続を同時に利用された場合、接続しているプロバイダのセッション数制限により同時に利用できないことがあります。
- PPPoEブリッジによりフレッツ・スクウェアへ接続されているパソコンから、インターネットを同時に利用できないことがあります。
- パソコンからのPPPoEによる接続先とPACSIAの接続先が同じに設定されていると、同時に接続することができないことがあります。ご注意ください。

設定後、「設定」ボタンをクリックすると、「有効とするには「設定データ保存」を行ってください。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



お知らせ

- 設定を有効とするには、設定データの保存を行ってください。設定データの保存を行うには、詳細設定メニューで「設定データ保存」をクリックし、表示された画面の「保存」ボタンをクリックしてください。

設定例：同時にインターネットと フレッツ・スクウェアを利用する

PPPoEブリッジ機能を利用し、LANに接続されているパソコンから直接PPPoEによりフレッツ・スクウェアへ接続させます。

かんたんインターネット設定からWAN（ブロードバンド）接続を設定することにより、直接PPPoE接続されていないパソコンからはインターネットへ接続できます。

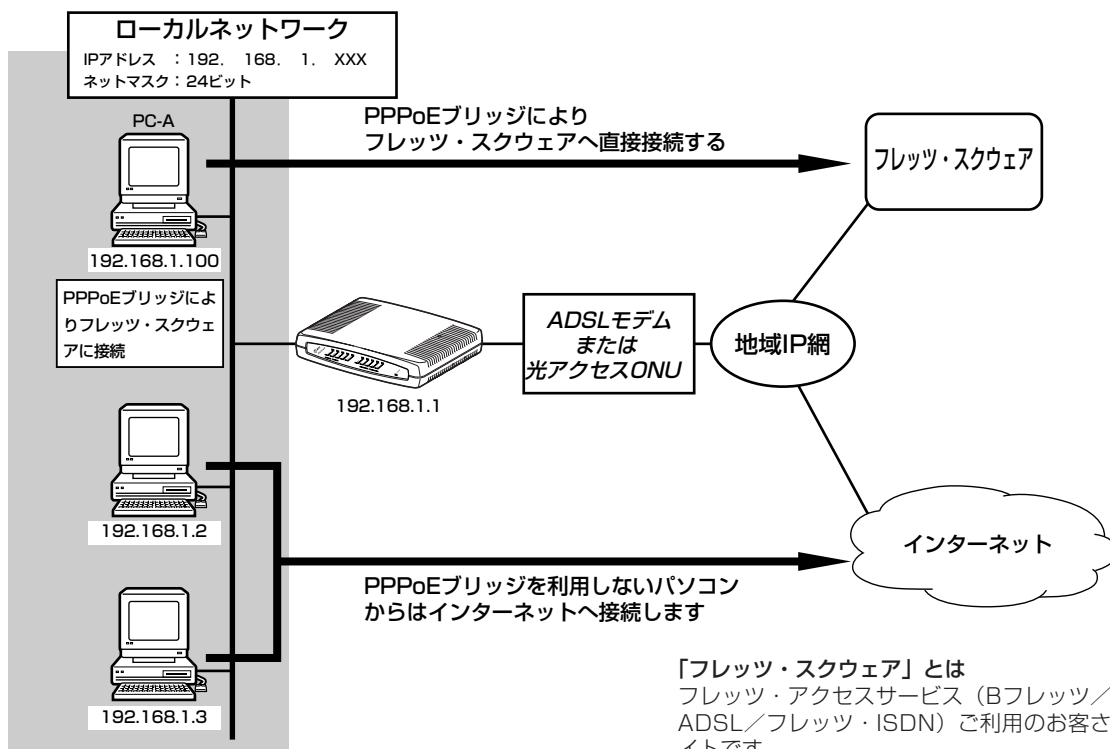
■設定について

インターネット接続とPPPoEブリッジの設定を行います。

インターネット接続は、かんたんインターネット設定により設定できます。（かんたんガイド●P72）

PPPoEブリッジ設定でPPPoEブリッジ接続を「する」に設定します。

- ローカルネットワークに接続されているPC-AからPPPoEブリッジ接続によりフレッツ・スクウェアへ接続を行います。その他のパソコンからは、インターネットへ接続します。
- PC-Aからフレッツ接続ツールを利用した接続ができます。



「フレッツ・スクウェア」とは
フレッツ・アクセスサービス（Bフレッツ／フレッツ・ADSL／フレッツ・ISDN）ご利用のお客さま専用のサイトです。

「フレッツ・スクウェア」はNTT東日本／NTT西日本の地域IP網内に設置したサーバにより提供しており、インターネット上では公開されていません。このためフレッツ・スクウェアに接続する場合には、インターネットプロバイダへの接続ではなく、フレッツ・スクウェア専用の接続設定が必要になります。

主装置に次の項目の設定が必要です。

- 1 WAN（ブロードバンド）接続設定（応用ガイド●P70）
- 2 ルーティング設定 デフォルトルート（応用ガイド●P73）
- 3 ProxyDNS設定（応用ガイド●P81）
- 4 PPPoEブリッジ設定（●P28）



お知らせ

- PPPoEブリッジによりフレッツ・スクウェアへ接続されているパソコンから、インターネットを同時に利用できないことがあります。
- パソコンからのPPPoEによる接続先とPACSIAの接続先が同じに設定されていると、同時に接続することができません。ご注意ください。
- PPPoEブリッジを利用してWANに接続している場合は、DATA-Wランプ（かんたんガイド●P23）は点灯しません。データの送受信はWANランプで確認することができます。

1
電話
利用
する

2
電話
設定
の
詳細
な

3
PPPoE
ブリ
ッジ
設定

4
ド
メ
イン
グ

5
参
考
に

(前ページのつづき)

■以下の項目を設定してください

設定方法については、「応用ガイド 4 ルータ機能の設定を行う」および本書を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、すべて初期値を設定してください。

●WAN（ブロードバンド）接続設定

No	データの名称	設定するデータ
		インターネット
1	接続先名	INTERNET
2	接続先の認証	PAP
3	通知ログイン名	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたログイン名
4	通知パスワード	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたパスワード
5	監視タイマ	0
6	IPアドレス割り付け	しない
7	IPアドレス変換	端末型ダイヤルアップ

●ルーティング設定－デフォルトルート

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	経路先	INTERNET
2	経路先IPアドレス	－
3	ホップ数	1

●ProxyDNS設定

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	ProxyDNS機能	する
2	DNS問い合わせ先	IPアドレス
3	プライマリDNSサーバ	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたプライマリDNSサーバのIPアドレス
4	セカンダリDNSサーバ	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたセカンダリDNSサーバのIPアドレス
5	NetBIOS名前解決	しない

●PPPoEブリッジ設定

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	PPPoEブリッジ接続	する

ドメインルーティングとは

ドメイン名により接続先を選択する機能です。

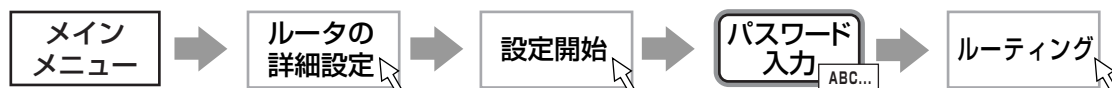
ローカルネットワーク側のパソコンからドメイン名の問い合わせに対して、登録されたドメイン名と一致する場合、設定されたルーティング先およびDNSサーバにパケットをルーティングします。

ドメインルーティングを行うには、ProxyDNS設定（応用ガイド●P81）およびDHCPサーバ設定（応用ガイド●P79）が必要です。また、パソコンのインターネットプロトコル（TCP/IP）にてDNSサーバのアドレスを主装置のIPアドレスに設定する必要があります。

ドメインルーティング設定

ドメインルーティングにより、同時に複数のプロバイダと接続する場合、ドメイン名によりDNSサーバとルーティング先を指定することができます。ルーティング用のテーブルは、8個設定可能です。

「■IPルーティング設定」画面を表示するには詳細設定メニューでルーティング設定の「ルーティング」をクリックします。



名称	説明	説明	初期設定
ドメイン名	ルーティングの対象とするドメイン名を設定する。	制御コード、スペースを除くASCII文字	なし
ルーティング先	ルーティング先の指定方法としてLANインタフェース／接続先のどちらを指定するかを設定する。	LANインタフェース／接続先名	LANインタフェース
DNSサーバ	ドメイン名の問い合わせを行うDNSサーバアドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0~255 10進数)	なし
ホップ数	経路先の距離（コスト／ホップ数）を設定する	1~16	1

■ルーティング設定を行うには

ドメインルーティングを新規に登録する場合

- 1 「新規」 ボタンをクリックします。
- 2 設定画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」 ボタンをクリックします。
「設定」 ボタンをクリックすると、「有効とするには「設定データ保存」を行ってください。」という確認メッセージが表示されます。
- 4 「OK」 ボタンをクリックします。
「OK」 ボタンをクリックすると、「■IPルーティング設定」画面に戻ります。

ドメインルーティングを変更する場合

- 1 一覧から変更する設定No.を選択します。
- 2 設定画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」 ボタンをクリックします。
「設定」 ボタンをクリックすると、「有効とするには「設定データ保存」を行ってください。」という確認メッセージが表示されます。
- 4 「OK」 ボタンをクリックします。
「OK」 ボタンをクリックすると、「■IPルーティング設定」画面に戻ります。

1
電話
利用
する2
電話
設定
の
詳細
な
設定
を行う3
プロ
ビ
ジ
ャ
ー
設定4
ド
メ
イ
ン
ルー
ティ
ン
グ5
参
考
に

(前ページのつづき)

ドメインルーティングを削除する場合

- 1 削除する設定No.を選択します。
- 2 設定画面が表示されるので、確認します。
- 3 「削除」 ボタンをクリックします。
「削除」 ボタンをクリックすると、「このルーティング設定を削除します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。
■確認メッセージに対して「キャンセル」 ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。
- 4 確認メッセージに対して「OK」 ボタンをクリックします。
「OK」 ボタンをクリックすると、「削除しました。有効とするには「設定データ保存」を行ってください。」という確認メッセージが表示されます。
- 5 「OK」 ボタンをクリックします。
「OK」 ボタンをクリックすると、「■IPルーティング設定」画面に戻ります。

1

ドメイン名

ルーティングの対象とするドメイン名を入力します。

2

ルーティング先

プルダウンからルーティングする接続先を選択します。

3

DNSサーバ

ドメイン名の問い合わせを行うDNSサーバアドレスを入力します。

4

ホップ数

ホップ数を入力します。



お知らせ

- 特に設定する必要がない場合は、「1」のままにしてください。



お知らせ

- お使いのパソコンが主装置のProxyDNS機能を利用しない場合は、ドメインルーティングがご利用になれません。
- お使いのパソコンにDNS問い合わせ結果が保存されている場合は、ドメインルーティングが正常に動作しないことがあります。
- お使いのパソコンにIPv6がインストールされている場合は、ドメインルーティングが正常に動作しないことがあります。
- 設定を有効にするには、設定データ保存を行ってください。設定データ保存を行うには、詳細設定メニューで「設定データ保存」をクリック後、表示された画面の「保存」ボタンをクリックしてください。
- 「元に戻す」ボタンをクリックすると設定をやり直すことができます。

設定例：同時にインターネットと フレッツ・スクウェアに接続する

ドメインルーティングにより、複数台のパソコンからインターネットとフレッツ・スクウェアを同時に利用できます。

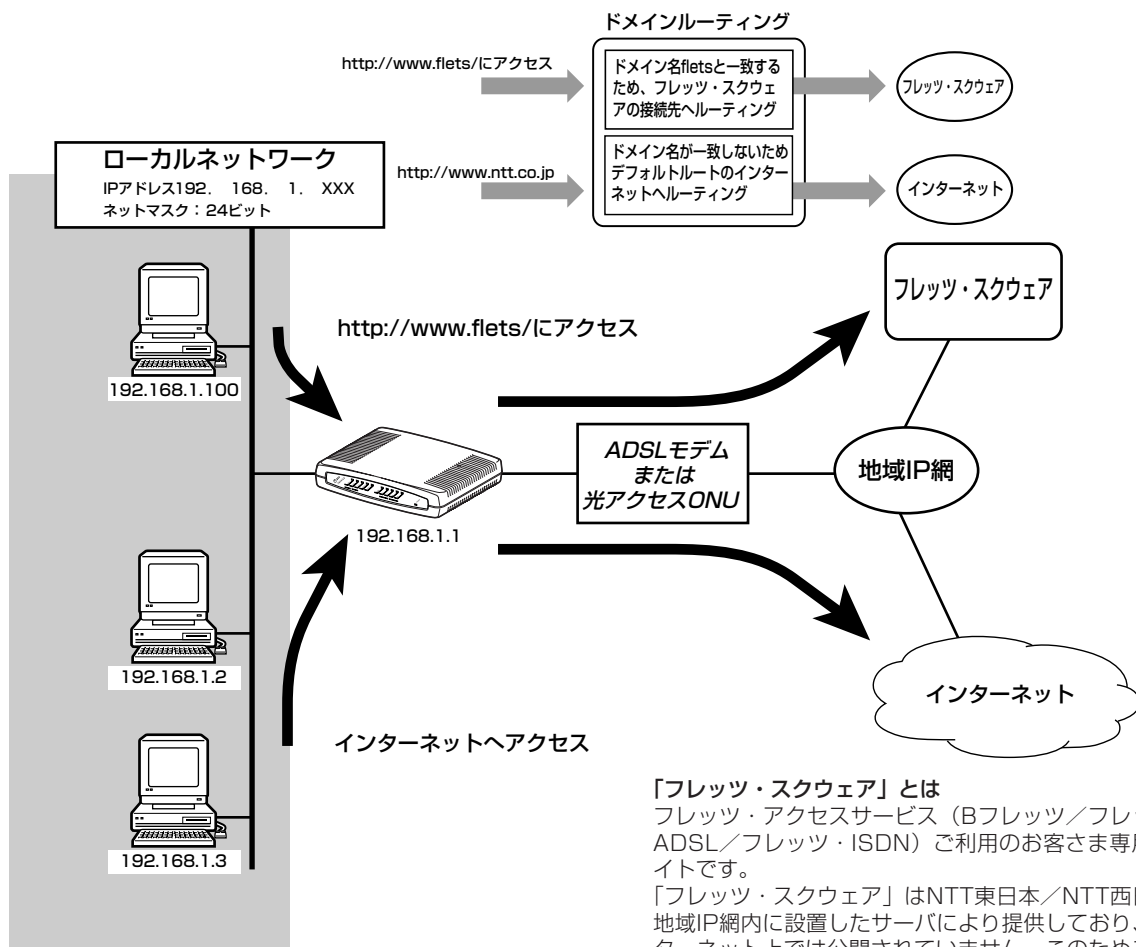
■設定について

2つの接続先（インターネットとフレッツ・スクウェア）に対して、ドメインルーティング機能を利用して接続する設定例を示します。

WAN（ブロードバンド）接続設定は、インターネットとフレッツ・スクウェアの2つ設定します。

デフォルトルートについては、インターネットの設定とします。

同時に利用するために、フレッツ・スクウェアのドメイン名（「flets」）に対してフレッツ・スクウェアの接続先をルーティング先に設定します。



「フレッツ・スクウェア」とは
フレッツ・アクセスサービス（Bフレッツ／フレッツ・
ADSL／フレッツ・ISDN）をご利用のお客さま専用のサ
イトです。

「フレッツ・スクウェア」はNTT東日本／NTT西日本の
地域IP網内に設置したサーバにより提供しており、イン
ターネット上では公開されていません。このためフレ
ッツ・スクウェアに接続する場合には、インターネットブ
ロバイダへの接続ではなく、フレッツ・スクウェア専用
の接続設定が必要になります。

主装置に次の項目の設定が必要です。

- 1 WAN（ブロードバンド）接続設定（インターネット、フレッツ・スクウェア）（応用ガイド●P70）
- 2 ルーティング設定 デフォルトルート（応用ガイド●P73）およびドメインルーティング（●P31）
- 3 ProxyDNS設定（応用ガイド●P81）



お知らせ

- ドメインルーティングにてフレッツ・スクウェアへ接続する場合、フレッツ・スクウェアで提供している一部のサービスが利用できない場合があります。すべてのサービスを利用したい場合は、PPPoEブリッジ機能（●P28）を利用してパソコンから直接フレッツ・スクウェアに接続してください。

1
☎電話を
利用する

2
☎電話の
詳細な
設定を行
う

3
ブロード
バンド
ブリッジ
設定

4
ドメイン
ルーティ
ング

5
ご参考
に

(前ページのつづき)

■以下の項目を設定してください

設定方法については、「応用ガイド 4 ルータ機能の設定を行う」および本書を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、すべて初期値を設定してください。

●WAN（ブロードバンド）接続設定

No	データの名称	設定するデータ	
		インターネット	フレッツ・スクウェア
1	接続先名	INTERNET	FLETS
2	接続先の認証	PAP	PAP
3	通知ログイン名	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたログイン名	guest@flets（東日本エリア） flets@flets（西日本エリア）
4	通知パスワード	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたパスワード	guest（東日本エリア） flets（西日本エリア）
5	監視タイマ	0	0
6	IPアドレス割り付け	しない	しない
7	IPアドレス変換	端末型ダイヤルアップ	端末型ダイヤルアップ

●ルーティング設定－デフォルトルート

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	経路先	INTERNET
2	経路先IPアドレス	－
3	ホップ数	1

●ルーティング設定－ドメインルーティング

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	ドメイン名	flets
2	ルーティング先	FLETS
3	DNSサーバ	－（設定しない）
4	ホップ数	1

●ProxyDNS設定

No	データの名称	設定するデータ
		ローカルネットワークの主装置
1	ProxyDNS機能	する
2	DNS問い合わせ先	IPアドレス
3	プライマリDNSサーバ	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたプライマリDNSサーバのIPアドレス
4	セカンダリDNSサーバ	インターネットサービスプロバイダから割り当てられたセカンダリDNSサーバのIPアドレス
5	NetBIOS名前解決	しない



お知らせ

- ドメインルーティングを行うには、パソコンに対してDNSサーバアドレスの設定を行う必要があります。DNSサーバアドレスとして主装置のIPアドレスを設定してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
IP電話の外線ボタンを押しても捕捉できない	IP電話が設定されていない	「IP電話の設定を行う」からIP電話の設定を行ってください	●P12
IP電話を設定しても内線電話機のディスプレイに「VoIPリヨウフカ」が表示される	IP電話が設定されていない	「IP電話の設定を行う」からIP電話の設定を行ってください	●P12
	WANが接続されていない	主装置のWANポートとADSLモデム等が接続されていることを確認してください	かんたんガイド ●P44
	IP電話の設定が間違っている	レポート表示からIP電話サーバへの接続が完了していることを確認してください	●P20
IP電話から発信できない	接続先の選択が間違っている	選択した接続でインターネットに接続できることを確認してください	かんたんガイド ●P81
	発信規制されている電話番号へ発信している	発信禁止番号の設定を確認してください	応用ガイド ●P25、44
	IP電話サービス対象外の電話番号に発信している ネットワーク障害などが起こっている	「ご利用上の注意」にある表、または内線電話機のディスプレイ表示を確認してください	●P3 ●P15
IP電話で通話中に、DATA-WランプとWANランプが早く点滅する	IP電話のデータを送受信しているためです。故障ではありません。	—	かんたんガイド ●P23

1
IP電話を
利用する2
IP電話の詳細な
設定を行う3
IP電話
ブリッジ設定4
ドメイン
テイング5
ご参考に

応用ガイド（追加機能編）の用語の説明です。

IP電話（Internet Protocol Phone） ……

電話をかける相手の方との間の通信経路をインターネットで使用しているIPプロトコルベースで構築した電話ネットワークのことです。

PPPoEブリッジ …… ルータやモデムに接続されているパソコンからPPPoEプロトコルで直接インターネットに接続し、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができる機能のことです。

SIP（Session Initiation Protocol） ……

VoIPを応用したIP電話やインターネット電話などで用いられる通信制御プロトコルのことです。

VoIP（Voice over IP） …… インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに音声を伝送する技術のことです。

ドメインルーティング …… ドメイン名により接続先を選択する機能のことです。

アルファベット

IP電話

IP電話回線設定	23
IP電話設定	25
IP電話の設定を行う	12
オンフック外線自動捕捉で利用する	17
かんたん電話設定	12
接続	21
切断	21
設定する	9
設定する前に	3
設定方法について	12
使い方	16
ディスプレイの見方	15
電話を受ける	18
電話をかける	16
動作履歴を確認したい場合	20
利用できる電話機について	4
利用できる電話機能一覧	5
ワンタッチで利用する	17
IP電話を使って即時発信するときは	17
IP電話サーバ接続について	14
IP電話登録エラー	11
設定に失敗したとき	11
利用できる外線ボタンがないとき	11
PPPoEブリッジ設定	28
PPPoEブリッジとは	28

五十音

【ア行】

一定時間内に応答しなかったときは	19
お話しをスピーカで聞くには	17
お話し中に電話がかかってきたときは	19
オンフック外線自動捕捉でIP電話を利用するには	17

【カ行】

回線未応答通知の利用方法	24
外線ランプが赤く点灯しているときは	17
かんたん電話設定（IP電話の設定）	12
緊急特番ダイヤル	17
故障かな？と思ったら	35

【サ行】

指定した電話機だけ着信音を鳴らすには	19
--------------------	----

詳細設定	28、31
状態を更新するには	21
スピーカ受話	17
設定手順	8
設定に失敗したとき	11
設定例	

同時にインターネットと

フレッツ・スクウェアを接続する 33

同時にインターネットと

フレッツ・スクウェアを利用する 29

【タ行】

長時間通話警告	17
通信回線の特性について	4
通話時間が一定時間を越えたときは	17
続けてかかってきた電話に応答するには	19
着信音が鳴らないようにするには	19
着信拒否	19
着信未応答通知	19
着信鳴動設定について	14
着信鳴動電話機指定	19
ディスプレイ表示の表示例	15
電話をかけるには	16
電話がかかってきたときは	18
電話機のディスプレイ表示	15
電話の詳細設定（IP電話回線設定）	23
ドメインルーティング設定	31
ドメインルーティングとは	31

【ハ行】

発信者番号通知について	17
ハンドセットを取りあげてから応答するには	19
ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには	17
昼間と夜間で着信先を変えるには	14
昼モード	14

【ヤ行】

用語の説明	36
夜モード	14

【ラ行】

利用上の注意	3
利用できる外線ボタンがないとき	11
利用できる電話機について	4
利用できる電話機能一覧	5
ルータの詳細設定（IP電話設定）	25

【ワ行】


ワンタッチでIP電話を利用するには	17
-------------------	----

1
IP電話を利用する2
IP電話の詳細な設定を行う3
PPPoEブリッジ設定4
ドメインルーティング5
ご参考に

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2003 NTTEAST・NTTWEST



本2434-1(2003.5)